

(3) 学校教育課の取り組み

○授業改善に係る学校支援訪問の実施

○各種研修会等の実施

- ① 県学力向上プロジェクトの方向性を踏まえ、市教育委員会の具体的実践内容を示し、各学校・関係機関との連携を図る。
- ② 石垣市スタンダード（学習規律・授業スタンダード）を基に、中学校区内における小中連携の充実が円滑に図れるよう学校訪問・各種研修会等を通して支援する。
- ③ 教育環境の充実を図るため、学校教育支援員・外国語学習支援員・学校ICT支援員を派遣するとともにICT機器等を整備する。
- ④ 全教師が年1回以上の公開授業（研究授業）を行い、校内研修に積極的に関わることで授業力向上のための取組を推進する。

⑤ 生活リズムの確立

- 「早寝、早起き、朝ごはん・団らん」運動を推進する。
 - ・ 幼児児童生徒の実態把握を定期的を確認する。
 - ・ 「生活ノート」等を効果的に活用し、生活リズムの確立を図る。
 - ・ 児童生徒の自主的な活動を支援するため、特別活動等で話し合いを行う。
 - ・ 家庭教育を支援するため親のまなびあいプログラム、家庭教育支援アドバイザー等を活用する。
- 「各家庭は、「帰宅時刻」「家庭学習の時間」を設定するように呼びかける。
 - ・ 家庭における約束事（帰宅時刻、家庭学習時間）を決め家族団らんの時間を確保する。

- ⑥ 「全国学力・学習状況調査」、「標準学力調査」、「県学力到達度調査」等の分析を行う。

《 具体的な目標 》

1) 各種調査の目標

- ① 全国学力・学習状況調査の市平均正答率の目標 * () は全国差
 - ・ 小学校：国語A(-1.5p以内)、算数A(+1p以上)、国語B(-1.5p以内)、算数B(-3p以内)
 - ・ 中学校：国語A(-5p以内)、算数A(-9p以内)、国語B(-8p以内)、算数B(-8p以内)
- ② 沖縄県学力到達度調査
 - ・ 小学校：県との平均差 全学年（小3～小6）全教科－1 p 以内
 - ・ 中学校：県との平均差 国・数・理・社－1 p 以内、英－2 p 以内
- ③ 標準学力調査・・・目標値以上

2) 読書活動の充実（※幼稚園は、各園で読み聞かせを充実する）

- ① 必読図書を選定し、全て読むことを推進する。
- ② 読書記録カードの活用
- ③ 市平均読書冊数の目標（量と質の確保）・・・小学校110冊以上、中学校40冊以上

3) 放課後活動等の適正化を図り、家庭学習の時間を確保する。

- ① 小学校・・・小1・2（15～30分）、小3・4（45～60分）、小5・6（75～90分）
- ② 中学校・・・中1（1時間45分）、中2（2時間）、中3（2～3時間）